2027年度

旭川医科大学病院
医師臨床研修プログラム
募 集 案 内



研修期間：2027年4月1日～2029年3月31日

旭川医科大学病院 卒後臨床研修センター

旭川医科大学病院について

基本理念

患者中心の医療を実践し、地域医療に寄与するとともに、国際的に活躍できる医療人を育成する 。

目　標

1）人権や尊厳を思い遣る患者中心の医療を行う。
2）安心・安全を心がける中で、高度な医療を提供する。
3）予防・健康医学に取り組み、地域医療や福祉の向上に貢献する。
4）倫理観にあふれ、国際感覚に富んだ医療人を育成する。
5）未来の医療を創造し、その成果を国内外に発信する。

本院の特徴

・研修医奨学金等、本院独自の給与形態を整備し、充実した労働環境が整っています。
・ドクターヘリ運航の協力基幹病院（ヘリポート、格納庫提供）です。
・道北圏で2番目に大きい救命救急センター（急患受入実績年間 約4，500件、ICU 10床）を有しています。
・ハイブリッド手術室、デイサージャリー手術室を備えており、年間 7,000件の手術を行っています。
・赤ちゃんにやさしい病院（BFT）の認定施設です。（NICU 9床、GCU 12床）
・院内に病児・病後児保育室を完備しています。
・院内にはスターバックスコーヒーと、24時間営業のローソンが出店しています。







【診療実績等】※令和7年度実績

病　床　数：	602	床	（一般569床、精神31床）
入院患者数：	15,263	名	（歯科口腔外科を除く）
新外来患者数：	4,289	名	（歯科口腔外科を除く）
救急医療件数：	4,258	件	

【医師数】※令和8年4月現在

常勤医師医数：	257	名	
非常勤医師数：	98	名	（常勤換算）
指導医数：	81	名	

研修プログラムについて

プログラムの名称と定員

① 旭川医科大学病院　医師臨床研修プログラム(以下「総合プログラム」)　29名
② 旭川医科大学病院　小児科専門プログラム　2名
③ 旭川医科大学病院　産婦人科・周産期専門プログラム（②および③、以下「専門プログラム」）　2名

プログラムの概要と特色

(1)概要

本プログラムは旭川医科大学病院を基幹型病院とし、ほかの研修協力病院および施設と病院群を構築し卒後2年間の初期臨床研修を実施するプログラムです。

将来優れた臨床医、あるいは医学者として活躍するための基礎的な医学知識を過不足なく習得するとともに、すべての研修医が全人的かつ科学的根拠に基づいて患者さんに医療を実践できる基本的な臨床能力を修得し、適切なプライマリ・ケアを行うことができる臨床医としてトレーニングを積むことができるよう企画されています。

本格的な研修がスタートする前に、オリエンテーションを実施し、研修に不可欠な知識、技能を整理します。

(2)特色

本プログラムは以下のような特色を有しており、「臨床研修の理念及び目標」を達成するとともに充実した研修を行うことができます。

a) 全領域において多くの疾病や病態を経験でき、高度な医療を修得することができる。
b) 経験豊富な多くの指導医並びに医療スタッフのもとで研修を行い、診療チームの一員として態度・技能を身につけることができる。
c) 多角的な臨床研修を行うための種々のプログラムを用意している。将来必要な診療分野を臓器別診療分野から、きめ細かく、切れ目なく選択することが可能で、2年目を視野に入れた研修を自ら構築することができる。各科各領域の枠を越えて広く臓器別の研修を行うことが可能であり、北海道全域にわたる多くの医療施設との連携を図っている。
d) 臨床シミュレーションセンターを設置しており基本的臨床能力の修得に活用できる。
e) 研修以外の時間を有効活用することにより、研修期間中から社会人枠を利用して本学大学院に入学することが可能であり研究活動に早期から着手できる。

研修の理念・目標

旭川医科大学病院では、大学病院としての使命を認識し、患者中心の医療を実践し、地域医療に寄与するとともに、国際的に活躍できる医療人を育成することを基本理念として、次の目標をかかげ臨床教育に取り組んでいます。

1)人権や尊厳を思い遣る患者中心の医療を行う。
2)安心・安全を心がける中で、高度な医療を提供する。
3)予防・健康医学に取り組み、地域医療や福祉の向上に貢献する。
4)倫理観にあふれ、国際感覚に富んだ医療人を育成する。
5)未来の医療を創造し、その成果を国内外に発信する。

研修課程

本院では、以下の3つの研修プログラムを用意しています。

いずれも旭川医科大学病院を基幹型病院として、協力型臨床研修病院および臨床研修協力施設施設と病院群を構築し、卒後2年間の初期臨床研修を実施するプログラムです。

将来優れた臨床医、あるいは医学者として活躍するための基礎的な医学知識を過不足なく習得するとともに、全ての研修医が全人的かつ科学的根拠に基づいて患者さんに医療を実践できる基本的な臨床能力を修得し、適切なプライマリ・ケアを行うことが出来る臨床医としてトレーニングを積めるよう企画されています。

本格的な研修のスタートに備えて事前にオリエンテーションを実施し、研修に不可欠な知識、技能を整理します。

基本的に、1年目では必修科研修を主として行い、2年目は個々のニーズに柔軟に対応できるよう、自由選択研修をメインとしています。

①旭川医科大学病院　医師臨床研修プログラム（総合プログラム）

	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週
1年次	内科24週						救急12週			外科8週		小児4週	産婦4週
2年次	精神4週	選択必修A・B 8週		地域4週	自由選択研修								

②旭川医科大学病院　小児科専門プログラム

	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週
1年次	内科24週						救急12週			外科8週		小児4週	産婦4週
2年次	精神4週	選択必修A・B 8週		地域4週	小児科研修								

③旭川医科大学病院　産婦人科・周産期専門プログラム

	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週
1年次	内科24週						救急12週			外科8週		小児4週	産婦4週
2年次	精神4週	選択必修A・B 8週		地域4週	産婦人科研修								

ローテーションの例

必修　自由選択　学外研修

		4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週
学内ローテ	1年次	内科	内科	小児科	精神科	内科	内科	救急	救急	救急	外科	外科	選択A	産婦
	2年次	内科	内科	地域	選択B	自由	自由	自由	自由	自由	自由	自由	自由	自由

		4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週
2年次たすき	1年次	救急	救急	救急	内科	内科	小児	外科	精神	選択B	産婦	自由	自由	選択A
	2年次	A病院内科	A病院内科	A病院内科	A病院内科	地域	A病院外科	A病院自由	A病院自由	A病院自由	A病院自由	A病院自由	A病院自由	A病院自由

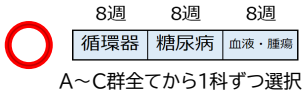
		4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週
短期学外	1年次	自由	自由	内科	内科	精神	小児	外科	外科	選択B	産婦	救急	救急	救急
	2年次	選択A	地域	内科	内科	内科	内科	自由	自由	自由	自由	B病院自由	B病院自由	B病院自由

※地域医療研修は、2年次に行います。

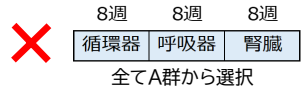
○本院の3つのプログラムには、共通して次の必修科目等が設定されています。

内科研修　**24週**　内科研修は下記の診療科から3科選択し、1科につき8週間の研修を原則とします。なお、同一群から選択できるのは2科までとしています。

群	臓器別診療科名
A群	循環器内科　呼吸器内科　脳神経内科 腎臓内科
B群	糖尿病・内分泌内科 リウマチ・膠原病内科
C群	消化器内科　血液・腫瘍内科 総合診療部

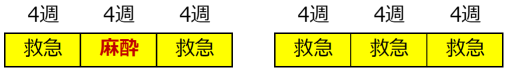


A～C群全てから1科ずつ選択



全てA群から選択

救急部門研修　**12週**　本院救急科で研修を行う場合、4週を麻酔科で行う場合があります。また、12週間の救急科研修のほかに、月に2～3回程度、主に救急外来(walkin)などの当直業務を行います。



外科研修　**8週**
小児科研修　**4週**
産婦人科研修　**4週**
精神科研修　**4週**
本院または病院群の中で研修可能な施設で研修を行います。

選択必修研修　**8週**　原則本院で行い、選択必修A、選択必修Bの科からそれぞれ1科ずつ各4週選択します。

研修科	臓器別診療科名
選択必修A　4週	脳神経外科　整形外科　腎泌尿器外科　眼科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科　皮膚科　麻酔科蘇生科　形成外科
選択必修B　4週	放射線科　病理診断科　麻酔科蘇生科　リハビリテーション科 緩和ケア科　臨床検査・輸血部

地域医療研修　**4週**　地域医療研修は2年次に行います。実施予定施設は別に提示します。

一般外来研修　**4週**　2年間の研修期間を通して、地域医療研修、内科研修、小児科研修、外科研修、自由選択研修の研修期間中に行った外来研修を積算し、計20日間以上となるよう実施します。

○必修科目以外の研修は次のとおりです。

自由選択研修　**36週**　本院または病院群の施設で研修可能な科を自由に選択します。ただし、小児科、産婦人科のプログラムの場合はこの期間全て、各専門科の研修となります。
必修科研修の期間が不足した場合は、自由選択研修期間を必修科研修に充てて補完します。

訪問診療・多職種連携研修　自由選択研修期間中の選択研修として訪問診療の実践を通じ、多職種との連携の重要性を理解し、連携の方法などについても習得することを目的として、公立芽室病院で2か月または3ヶ月(8～12週間)研修します。

※たすき掛け研修、学外研修について

おおむね1年間を、病院群のひとつの施設で行うことをたすき掛け研修といいます。

基幹型病院以外の施設で研修を行える期間は1年以内とされており、本院では原則として2年次に、進路が決まっている研修医の所属科等が必要と認めた場合にたすき掛け研修、学外研修を実施しています。特に必要と認められた場合には1年次にたすき掛け研修を行うことがあります。

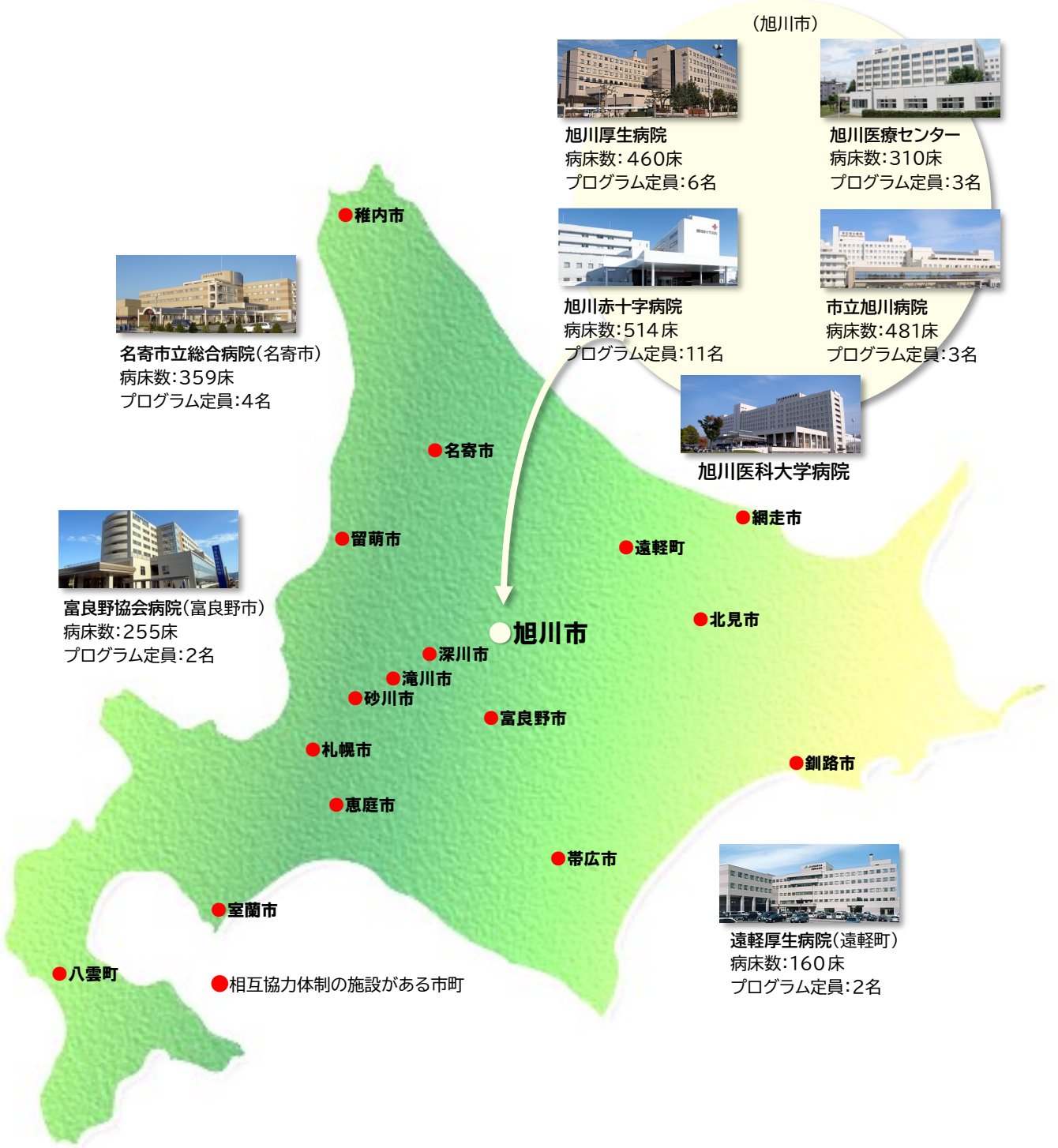
施設ごとに研修可能な科や期間が違いますので、ローテーション調整には注意が必要です。

所属科が決まっている研修医は、所属科と相談してローテーションを策定することができます。所属科が決まっていない研修医については、必要に応じて卒後臨床研修センターの医局長がローテーション調整の相談に応じています。

研修施設・協力体制について

旭川医科大学病院医師臨床研修プログラムでは、病院群に所属する関連臨床研修病院とのたすき掛け研修のほか道内各地にある各診療科等の関連病院と連携し、研修を実施する体制を整備しています。

また、以下に示す臨床研修病院の研修プログラムに所属する研修医を、逆たすき掛け研修や自由選択研修等で受け入れる体制も整えています。



上記施設のほかに　札幌徳洲会病院　釧路赤十字病院　釧路労災病院　網走厚生病院　帯広第一病院　深川市立病院　恵み野病院　北斗病院　留萌市立病院　八雲総合病院　札幌厚生病院　市立稚内病院　砂川市立病院　滝川市立病院　北海道医療センター　斗南病院　帯広協会病院　釧路孝仁会記念病院　製鉄記念室蘭病院　済生会新潟病院　王子総合病院　勤医協中央病院

の研修医を受け入れることができます。

※各施設の募集定員は変更になる可能性があります。
※受け入れ可能施設は変更となる可能性があります。

協力型臨床研修病院（長期研修可）

旭川圭泉会病院	旭川厚生病院	旭川赤十字病院	岩見沢市立総合病院
遠軽厚生病院	北見赤十字病院	釧路労災病院	旭川医療センター
札幌徳洲会病院	市立旭川病院	市立釧路総合病院	砂川市立病院
滝川市立病院	名寄市立総合病院	富良野協会病院	吉田病院
士別市立病院	深川市立病院	小林病院	くにもと病院
国立病院機構帯広病院	市立稚内病院	恵み野病院	札幌東徳洲会病院
北海道がんセンター	網走厚生病院	江別市立病院	釧路孝仁会記念病院
函館五稜郭病院	釧路赤十字病院	王子総合病院	日高徳洲会病院
北斗病院	JCHO北海道病院	留萌市立病院	北海道医療センター
イムス札幌消化器中央総合病院	帯広徳洲会病院	札幌太田病院	市立函館病院
道東の森総合病院	帯広第一病院	JR札幌病院	日鋼記念病院
禎心会病院	北海道脳神経外科記念病院	千歳市民病院	東京都立墨東病院※1
武蔵野赤十字病院※1	大浜第一病院※1	琉球大学病院※1	新百合ヶ丘総合病院※1
豊岡中央病院	製鉄記念室蘭病院	函館新都市病院	大川原脳神経外科病院
札幌厚生病院	相川記念病院	済生会小樽病院	八雲総合病院
清水赤十字病院	広尾町国民健康保険病院	帯広協会病院	東札幌病院
帯広厚生病院	市立札幌病院	共愛会病院	沖縄県立宮古病院※1
小樽協会病院	むかわ町鵡川厚生病院※2	常呂厚生病院※2	勤医協苫小牧病院※2
道央佐藤病院※2	勤医協中央病院		

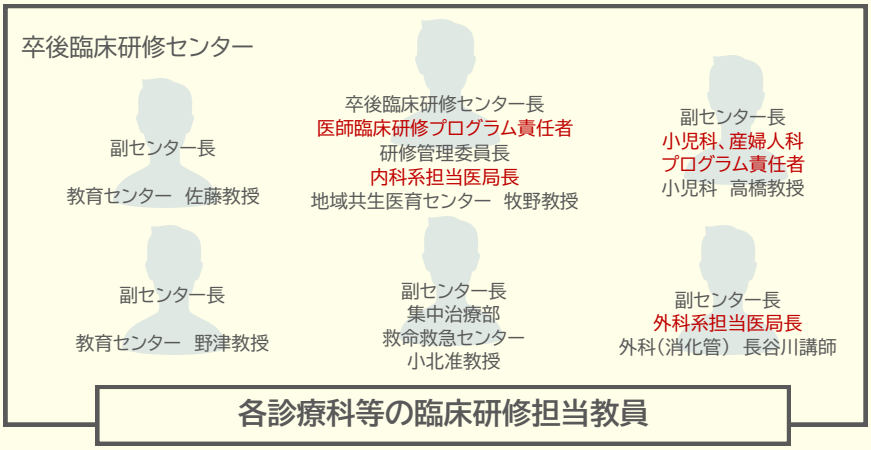
※1　道外の施設は所属診療科が交通費を支給する場合のみ選択できます。（研修科は内科限定です）
※2　所定の施設でたすき掛け研修を行った場合に研修する施設です。

臨床研修協力施設（短期研修可能）

北海道立羽幌病院	上川医療センター	新ひだか町立静内病院	美瑛町立病院
興部町国民健康保険病院	中頓別町国民健康保険病院	浜頓別町国民健康保険病院	本別町国民健康保険病院
利尻島国保中央病院	礼文町国民健康保険船泊診療所	国民健康保険和寒町立診療所	置戸赤十字病院
苫前厚生クリニック	町立沼田厚生クリニック	美深厚生病院	松前町立松前病院
本輪西ファミリークリニック	更別村国民健康保険診療所	寿都町立寿都診療所	町立中標津病院
公立芽室病院	枝幸町国民健康保険病院	足寄町国民健康保健病院	猿払村国民健康保険病院
広域紋別病院	市立芦別病院	市立根室病院	旭川リハビリテーション病院
整形外科進藤病院	北海道循環器病院	森山病院	北彩都病院
札幌山の上病院	あかびら市立病院	公立芽室病院	枝幸町国民健康保険病院
旭川南病院	森山メモリアル病院	上富良野町立病院	道立北見病院
苫小牧日翔病院	はらだ病院	大西病院	西成病院
洞爺温泉病院	サンビレッジクリニック	北星ファミリークリニック	天塩町立国民健康保険病院
子ども総合医療・療育センター	だいだいの丘クリニック	ほか	

＊地域研修を除く上記施設での研修は、指導科（入局先）と当センターとの事前調整が必要です。
＊上記施設では研修可能な科が限られている場合がありますので、当センターに確認してください。
＊上記施設には指導者が特に必要と認めた場合に限り1年次の研修が可能となる施設が含まれます。ただし、実施可能な施設や科に制限がある場合がありますので、指導者及び当センターとの事前調整及び確認が必要です。
＊6ヶ月以上の長期研修を行う場合は研修先の雇用となります。
＊地域医療研修実施施設は上記施設の中から当センターが別途指定します。
＊上記施設については追加削除等となる場合があります。

○卒後臨床研修センター医局について



卒後臨床研修センターでは、所属科（進路）が決まっていない初期臨床研修医のキャリア構築を補助する相談窓口として、内科系医局長、外科系医局長を配置しています。これに伴い、平成26年度から、所属先の決まっていない初期臨床研修医は、卒後臨床研修センター医局に入局したこととして取り扱っています。

入局後はローテーションの相談などについて随時対応するほか、キャリア形成のための相談会等を開催する予定としています。

※ケースによっては他の副センター長や、各科の担当教員に相談していただく場合もあります。

行事等

症例発表会・CPC（臨床病理検討会）

2年間の研修期間で必ず1回、発表を行います。

症例発表会では投票により、毎回優秀発表者を表彰しています。

CPCでは発表（症例呈示）のほか、実際の病理解剖にも立ち会います。

症例発表会・CPCは原則として研修医は必ず参加

オリエンテーション

研修を開始する前に、卒後臨床研修センターが企画するオリエンテーションに参加します。

期間は1週間程度で、医療安全や院内感染対策など重要な病院内のルールについて学ぶほか、院内各部署についての説明があります。

この期間内には医籍登録の確認や、保険医登録申請など、スムーズに研修をスタートするための準備を行います。

また、オリエンテーションの一環として、卒後臨床研修センターで開催するICLS（医療従事者のための蘇生トレーニング）を必ず受講します。

研修医勉強会など

本院では研修医が主体となって企画する勉強会が定期的に開かれています。

各診療科の協力のもと開催される講義のほか、研修医による講義も行われています。

また、各診療科等が企画する講演会やセミナーも多数開催されており、自由に参加することができます。

その他

研修医は、病院職員に義務付けられている各種研修会等に、規定回数参加します。

＊医療安全研修（年2回）
＊放射線業務従事者講習会（年1回）
＊健康診断（年1回）　　など

大学院について

将来、医学研究に携わる人材育成も本院の使命の一つであることから、本院研修プログラムでは研修期間中
学を認めています。

例①（大学講義のみを受講して必要な単位を取得する場合）

1年目	2年目	3年目
初期研修1年目（大学病院）	初期研修2年目（大学病院）	後期研修/臨床医
必要受講回数72回（先端医学54回　基礎医学特論9回　医学論文特論9回）10単位		（必要に応じて補
研究者コース：基礎医学基盤演習　2単位　/　臨床研究者コース：臨床医学基盤演習　2単位 臨床研修医学コース・次世代がんインフォマティクス人材養成コース：臨床医学基盤演習　2単位		
研究者コース：特論演習　2単位　/　臨床研究者コース：特論演習　6単位 臨床研修医学コース・次世代がんインフォマティクス人材養成コース：特論講義　2単位		
研究者コース：特論　2単位、特論実験・実習　12単位　/　臨床研究者コース：特論実験・実習　8単位、臨床研究・臨床試験特 臨床研修医学コース・次世代がんインフォマティクス人材養成コース：特論実験・実習　8単位、特論演習又は演習		
		研究者コース：特論論文作成演習　4単位 臨床研修医学コース・次世代がんインフォマ

例②（e-ラーニング併用を併用して必要な単位を取得する場合）

1年目	2年目	3年目
初期研修1年目（大学病院）	初期研修2年目（協力病院等）	後期研修/臨床医
必要受講回数85回（先端医学63回　基礎医学特論11回　医学論文特論11回）10単位		（必要に応じて補
研究者コース：基礎医学基盤演習　2単位　/　臨床研究者コース：臨床医学基盤演習　2単位 臨床研修医学コース・次世代がんインフォマティクス人材養成コース：臨床医学基盤演習　2単位		
研究者コース：特論講義　2単位　/　臨床研究者コース：特論講義　2単位 臨床研修医学コース・次世代がんインフォマティクス人材養成コース：特論講義　2単位		
研究者コース：特論　2単位、特論実験・実習　12単位　/　臨床研究者コース：特論実験・実習　8単位、臨床研究・臨床試験特 臨床研修医学コース・次世代がんインフォマティクス人材養成コース：特論実験・実習　8単位、特論演習又は演習		
		研究者コース：特論論文作成演習　4単位 臨床研修医学コース・次世代がんインフォマ

※臨床研修を最優先とし、各単位の取得は専攻領域の大学院博士課程担当教員と相談の上適宜調整してください。
※地域医療研修は大学院講義を開講していない9月もしくは3月に行うことが望まれます。ただし、単位取得状況等により専攻領域
※eﾗｰﾆﾝｸﾞ併用時の本院以外の研修病院は、旭川医科大学病院の臨床研修病院群に含まれる旭川市内の施設であることが望まれ
※研修に支障を来す可能性がでてきた場合には、直ちにeﾗｰﾆﾝｸﾞの併用や長期履修制度の利用、休学等について検討してください

処　遇

身　　分	非常勤職員（研修医として採用）
手　　当	給与単価 10,005 円／日 当直に係る手当 10,000円～20, 000円／回 臨床研修手当、特殊勤務手当、通勤手当、寒冷地手当　等 ※合算して月額およそ300,000円
勤　務　時　間	8:30～17:15（変形労働制）
休　　暇	1年目13日間　　採用1年以上（2年目継続）14日間
当　　直	あり　2～4回／月　※月によって変わります
宿舎/研修医室	宿舎　なし　／　研修医室　あり　※全員にロッカーと机を用意しています
社　会　保　険　等	健康保険　厚生年金保険　労働者災害補償保険法の適用あり　　雇用保険あり
健　康　管　理	健康診断年1回
そ　　の　　他	医師賠償責任保険への加入は任意
外部の研修活動	学会、研究会等への参加可能　　費用は自己負担

中に社会人枠を利用した大学院への進

4年目

医学研究/基礎医学研究
完）
論演習　6単位 6単位
/ 臨床研究者コース：特論論文作成演習　4単位 ティクス人材養成コース：特論論文作成演習　4単位

4年目

医学研究/基礎医学研究
完）
論演習　6単位 6単位
/ 臨床研究者コース：特論論文作成演習　4単位 ティクス人材養成コース：特論論文作成演習　4単位

＼＼研修医の声／／

医師として基本的な診療能力を身につけるために初期臨床研修をしています。1年目なので戸惑うこともありますが、医療現場に携わることができてやりがいと誇りを感じています。

地元北海道の医療に貢献したくて旭川医科大学に進学しました。同じ志を持つ仲間たちと充実した学生生活を送ることができ、卒業した今も臨床研修において心強い存在です。

研修先である旭川医科大学院は、「道北・道東医療の最後の砦」といわれています。遠方からドクターヘリなどで重症患者が搬送されることも多く、 地域医療の重要性を実感します。

皆さんといつかともに働ける日を楽しみにしています。



域の大学院博士課程担当教員が他の月での実施を認める場合にはその限りではありません。
ます。また、各専攻領域の大学院博士課程担当教員が指定した施設であることとします。
。

応募要領

募集定員	旭川医科大学病院医師臨床研修プログラム　29名 旭川医科大学病院小児科専門プログラム　2名 旭川医科大学病院産婦人科・周産期専門プログラム　2名
応募資格	第121回 医師国家試験受験予定者 ※医師免許既取得者は、直接卒後臨床研修センターにお問い合わせください。
応募書類	(1) 応募申請書(本学所定の用紙)　1通 (2) 履歴書[顔写真貼付](本学所定の用紙)　1通 (3) 講師以上の教員による推薦状(任意様式)　1通 (4) 卒業(見込)証明書　1通 (5) 成績証明書　1通 (6) 現在治療中の疾患がある場合は、研修に差支え無い旨の医師の診断書(任意様式)　1通 ※(1)(2)の用紙はホームページからダウンロードできます。 ※本学卒業(見込)者は、(3)～(5)の提出は不要です。
選考方法	書類選考のうえ、マッチング・プログラム方式により決定します。
応募期間	令和8年6月16日(火) ～ 令和8年9月23日(水)
採用日 研修期間	2027(令和9)年4月1日 予定 2027(令和9)年4月1日 ～ 2029(令和11)年3月31日 予定
提出・問合せ	〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 旭川医科大学病院 卒後臨床研修センター TEL 0166-68-2198(直通) E-mail sotsugo@asahikawa-med.ac.jp 問い合わせフォーム

当院での研修について不明な点は、個別相談に応じておりますので、上記問合せ先までお気軽にお問い合わせください。

また、病院見学も随時受け付けています。希望日や希望診療科をご連絡いただきましたら可能な限り調整します。

2026年度マッチングスケジュール

令和 8年　6月　4日（木）　14時　参加登録開始

令和 8年　7月30日（木）　14時　参加登録締切

令和 8年　9月10日（木）　14時　希望順位登録受付開始

令和 8年　9月24日（木）　14時　希望順位登録中間公表前締切

令和 8年　9月25日（金）　14時　中間公表

令和 8年10月　8日（木）　14時　希望順位登録最終締切

令和 8年10月22日（木）　14時　組み合わせ発表



卒後臨床研修センターへのアクセス

旭川駅から

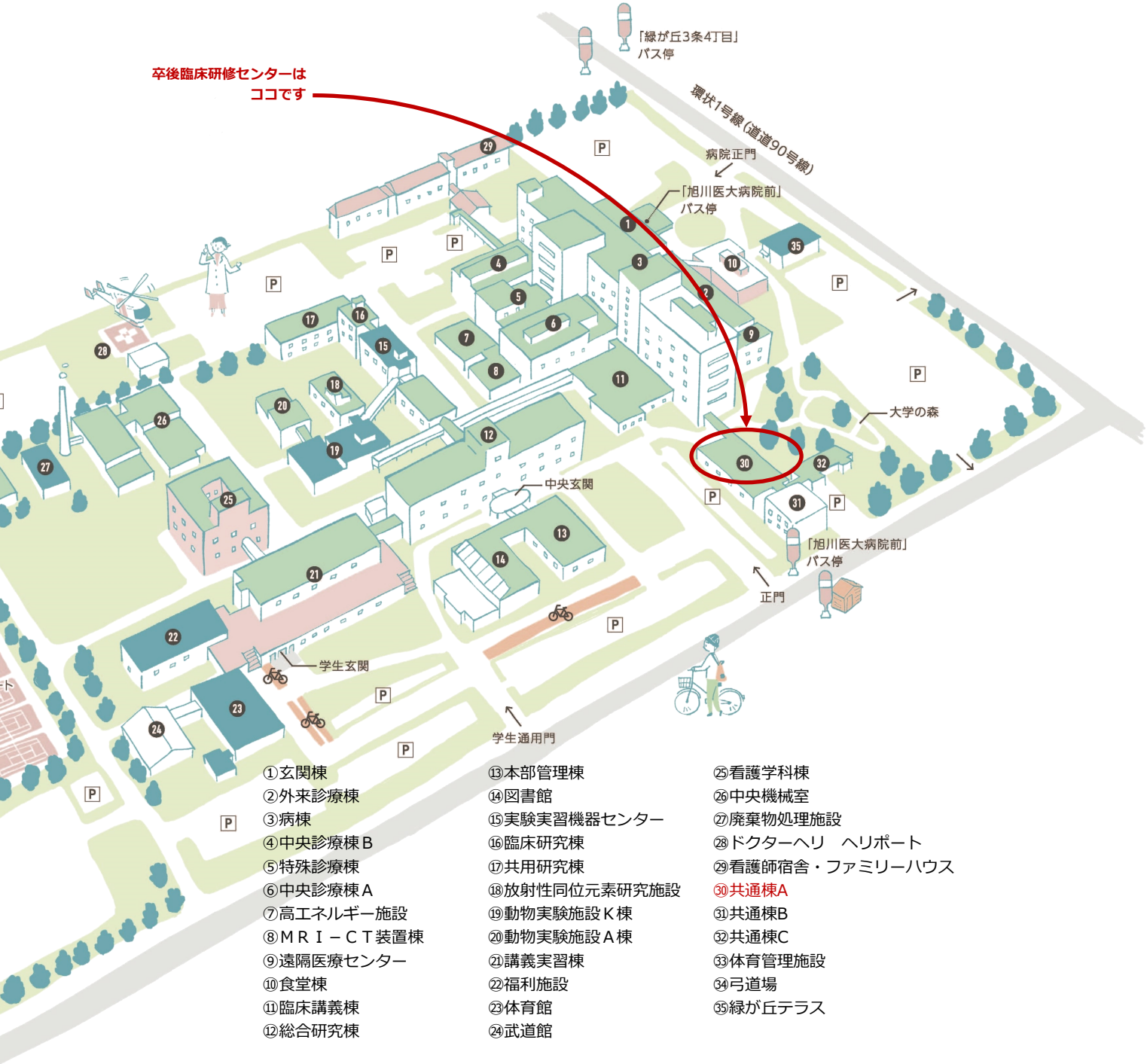
旭川電気軌道バス　71番　医大病院前で下車
〃　80番･81番
緑が丘3条4丁目で下車
料金　360円

タクシー　旭川駅から所要時間約20分
料金　約2,000円

旭川空港から

旭川電気軌道バス/道北バス/ふらのバス
いずれも旭川医大病院前で下車
料金　560円

タクシー　旭川空港から所要時間約30分
料金　約4,000円



①玄関棟
②外来診療棟
③病棟
④中央診療棟Ｂ
⑤特殊診療棟
⑥中央診療棟Ａ
⑦高エネルギー施設
⑧ＭＲＩ－ＣＴ装置棟
⑨遠隔医療センター
⑩食堂棟
⑪臨床講義棟
⑫総合研究棟
⑬本部管理棟
⑭図書館
⑮実験実習機器センター
⑯臨床研究棟
⑰共用研究棟
⑱放射性同位元素研究施設
⑲動物実験施設Ｋ棟
⑳動物実験施設Ａ棟
㉑講義実習棟
㉒福利施設
㉓体育館
㉔武道館
㉕看護学科棟
㉖中央機械室
㉗廃棄物処理施設
㉘ドクターヘリ　ヘリポート
㉙看護師宿舎・ファミリーハウス
㉚共通棟A
㉛共通棟B
㉜共通棟C
㉝体育管理施設
㉞弓道場
㉟緑が丘テラス

⚠ **このパンフレットに掲載されている情報は変更となる場合があります**

旭川医科大学
Asahikawa Medical University

旭川医科大学病院　卒後臨床研修センター
〒078-8510
北海道旭川市緑が丘2条1丁目1－1
TEL　0166-68-2198(直通)
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　https://www.asahikawa-med.ac.jp/bureau/shomu/sotsugo/